

Bange Higashi Park

ばんげひがし公園
鶴沼緑地公園

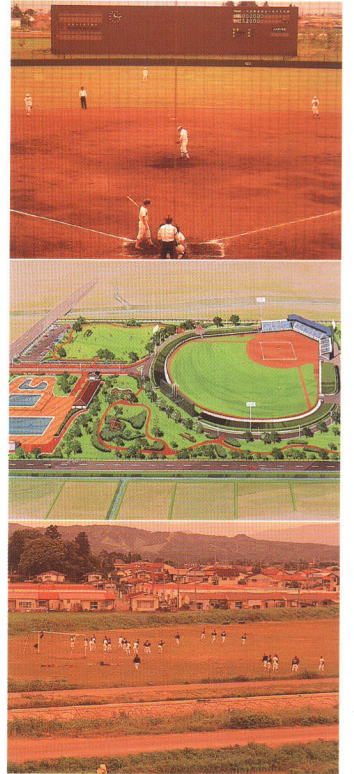
緑にこだまする
スポーツの黄色い風。

と
な
っ
て
い
る。
中
で
も
す
で
に
完

町では、会津西部の中核都市としてふさわしい機能をもった快適な居住環境づくりを目指し、昭和六十二年に「会津坂下町市街地整備基本計画」（坂下ライブタウン計画）を策定した。

その根幹的施策の一つ、公園・緑地整備事業の目玉として整備されているのが、ばんげひがし公園である。

ばんげひがし公園は、総面積五・二畝で野球場（公式）・屋内二十五メートルプール・流れるプール・幼児プール・多目的広場・チビッコ広場・花見広場など豊富な施設を有し、都市の存在にとって必要不可欠な都市公園



成し利用されている鶴沼球場は、町民の強い要望によって建設された待望の野球場で、県内でも有数規模の本格的球場である。ばんげひがし公園は、この球場を中心に全体を緑で覆い、スポーツと憩いが共存する空間を創り出している。

また、隣接する鶴沼川河川敷一帯に、さまざまな施設が分散配置した形で整備されているのが鶴沼緑地公園である。

主な施設はソフトボール場（一面）、全天候型テニスコート（六面）、ゲートボール場（四面）、主にサッカー競技の会場として使

用される多目的広場などで、ばんげひがし公園より一足先の昭和六十二年に完成し、町民をはじめとして広く地域の人々に活用されている。

鶴沼緑地公園内の各施設は、どちらかというとスポーツに親しみ、愛好する幅広い年齢層の町民たちに主に利用され、域のスポーツ・レクリエーションの拠点といった色合いが濃い一方、ばんげひがし公園については、本格的施設である鶴沼球場や公認プールを抱え、むしろ水準の高い競技スポーツの拠点としての利用度が高いといえる。

それぞれの特徴と個性をもったこれら二つの公園施設を一体的に利用・活用することによって人々が集まり、町民たちのふれあいの場・体力づくりの場・いこいの場となっている。

